

# レポート作成の注意点

長谷川高平

## 1. はじめに

ここでは、主にレポート執筆の経験が浅い学部1年生を対象にレポートの体裁を中心に注意すべきことを簡潔にまとめることとする。文章などの内容面については対象としない。学部2年生以上、並びにプレミアムカレッジ生の方々にはお節介な内容となることはご了承いただきたい。

## 2. フォント

- ✓ 文章のフォントサイズは10.5ptから12ptまで
- ✓ 「1.はじめに」のような見出しや課題名などのヘッダー項目は強調体を用いる  
MS明朝に対応する強調体はMSゴシック（日本語）、Centuryに対応する強調体は<sup>エアリアル</sup>Arial（英数字）が一般的。太字ではない。
- ✓ 参考文献のフォントサイズは本文よりも小さめの9pt程度が一般的

## 3. 体裁全般

- ✓ 本文は両端揃え（Ctrl + j）
- ✓ ホチキスは左上一箇所
- ✓ レポート要件が2ページならば、参考文献も含めて2ページ以内に収める。
- ✓ 図表も含めて要求されるページの9割の分量はページを埋めるように内容を充実させる。
- ✓ 図表は「**図-1 XXの概念図**」のようにタイトル付けする。図のタイトルは図の直下、表タイトルは表の直上に置くことが一般的
- ✓ 図表番号は強調体にする
- ✓ 図表は文中に対応する箇所があるはずなので、「**図-1**はXXを示しているが...」,「...ということが**表-1**からわかる」のように明記する。強調体を用いることで、図表に対応する文章がどこにあるか簡単に探せるようになる。



図-1 破損した海底送水管[1]

## 4. 参考文献

- ✓ 参考文献はたくさん調べたことを示す箇所ではないことに留意する。
- ✓ 文中である文献を参考にした箇所があれば「**XX**であることが判明している[2]」のように番号を文中に明記し、レポートの末尾に番号を付記した参考文献リストを列記する。
- ✓ 図表も拾い物であれば、図表タイトルの末尾に「**図-1 XXの概念図**[3]」のように明記する
- ✓ Wikipediaは書籍やネット情報などのまとめサイトであり、いわばレポートである。多数の参考文献からなるレポートを引用することは「孫引き」に相当するため、しっかりと原典を引用する。
- ✓ 参考文献にURLだけを記すことはご法度。URLが変わるなどでリンク切れを起こした際に内容を検証することができない。URLが同じでも内容が変更されている可能性もある。必ずホームページ名（社名など）と閲覧日を記すこと（例えば、参考文献[1]）。
- ✓ p.12のp.はページの略でカンマが略を意味している。同様にpp.12-14はPage to pageの略である。このような略記を行う際にはカンマを忘れないようにする。

## 5. おわりに

ここでは、学部一年生を主な対象としてレポートの注意点をまとめた。この内容は「都市の技術」だけでなく、他の授業でも役に立つ内容であると考えられる。是非、この資料を今後の学生生活に役立てていただければと思う。最後に、本資料を紛失したりすることも想定し、PDFにした本資料を筆者個人のHP[3]にアップロードしているので是非ご活用いただきたい。おまけではあるが、Office で多用するショートカットキーを筆者個人の Wiki [4]にまとめている。こちらも覚えておくと良いだろう。

## 参考文献

- [1] 広島市水道局 HP, <http://www.water.city.hiroshima.jp/jigyo/gaiyo/history/thema1.html>, [閲覧日]2020年5月15日.
- [2] 都市の技術 (改訂版), 首都大学東京大学院都市環境科学研究科都市基盤環境学域編, 技報堂出版, pp.16-32, 2016. (例)
- [3] 文献 1, p.22. (例)
- [4] 長谷川高平のページ, <http://kohei1234.html.xdomain.jp/Main.html> [閲覧日]2020年5月15日.
- [5] Office Tips, “kohei-hasegawa @ ウィキ”, <https://w.atwiki.jp/kohei-hasegawa/pages/17.html>

## 連絡先

ptmandu@gmail.com

## 更新履歴

- 2019.06.06 第一版を作成
- 2019.10.18. 内容を一部追加. ホチキスの綴じ代を追加. @Wiki のリンクを追加
- 2020.05.15 内容を一部修正. 筆者の HP 移設に伴いアドレスリンクを変更.